

新潟スタジアム周辺交通アクセス円滑化 TDM実証実験の概要 (実施期間: 14年3月～6月)

背景

新潟スタジアム周辺における交通渋滞の発生

- ・コンフェデレーションズカップ開催時のシャトルバス輸送の混乱
- ・ワールドカップ開催時の円滑な観客輸送体制の必要性 等

TDM実証実験の事業概要

申請主体:新潟県等

新潟スタジアムの試合開催時において、

1. パーク&ライドの実施

県内数カ所にマイカー利用者用の駐車場を設置し、マイカーからバスへの乗り換えを促進することにより、市内への自動車流入量を抑制する。

2. ワンコインシャトルバスの運行

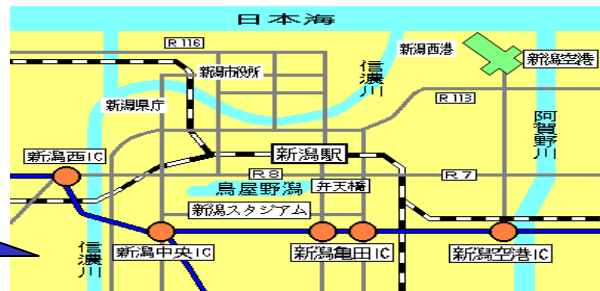
新潟駅 - 新潟スタジアム間にワンコイン(原則)シャトルバスを運行するとともに、周辺道路における違法駐停車対策の強化、道路空間の有効利用(バス専用レーンの設定)、マイカー規制(抑制)等と併せて、スタジアムへのアクセスの強化を図る。

3. 関係機関による情報共有体制の構築

大量の観客がスタジアムや駅に集中することへの対応として、観客や車両の移動状況に関し、関係機関による情報共有体制を整備し、円滑な誘導や不測の事態への対処を容易にする。



新潟スタジアム



関係行政機関等によるTDM実験への支援

北陸地方整備局、北陸信越運輸局、新潟県警察本部

実験結果

- (1)平成14年3月17日と4月27日に新潟スタジアムで開催された、サッカーJ2リーグのアルビレックス新潟戦の2試合で、ワンコインバス(大人100円・小人50円<通常:大人260円・小人130円>)を運行し、2日間で約67,000人を輸送した。
- (2)平成14年6月1日・3日・15日に新潟スタジアムで開催された、2002FIFAワールドカップ・サッカー大会に際しては、無料のシャトルバスの運行やバス専用レーンの設定等を行い、3日間で約120,000人を輸送した。

実験後の状況

イベント開催時に新潟駅南口から新潟スタジアムまでの間でシャトルバスが運行されている。